

行雲流水

No.315 令和5年6月6日発行

周囲に愛される人とは

校長 寒河江 正人

子どもだって、大人だって、
素直に「ひとつのこと」に夢中になれる人は、
なぜか不思議と、周囲の人に愛されるものだ。

「不器用でもいい」。
「うまくなんか、できなくてもいい」。

自分が見失っている、または見失いがちな「素直な心」「素直な行動」を
その人がもっているなあと気付かされることで、周囲の人たちは心が温かくなる。

何だか、とってもうれしくなってしまうのかなあ。
それとも、ついついその人の面倒をみたくなってしまうのかなあ。

周囲の人たちが、その人を放ってはおかななくなるものだ。

だから、生徒諸君。
もしも、「器用にできないこと」「うまくできないこと」があったとしても、
それを過剰に恥ずかしく思わなくていい。

「うまくできないこと」は、だれにだってある。
「うまくできないこと」を「できる」かのように
ごまかそうとしたり、ウソをついたりしなくていい。
それは、「あなたの良さ」をなくしてしまうことになるかもしれない。

「器用じゃなくても、人は愛される」。
「うまくできなくても、人は愛される」。

「素直な心」と「素直な行動」、
それが、「あなたの良さ」であり、「あなたの強み」なのだから。
迷わず、進め！！